



## 筑波大学新聞 第257号

雑誌名	筑波大学新聞
号	257
発行年	2006-11-13
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00123273">http://hdl.handle.net/2241/00123273</a>

硬式野球部

10年振りに神宮進出

首都大学秋季リーグ

東海大下し、リーグV

主戦・坪井が三冠獲得



日体大戦で好投する坪井（9月23日、等々力球場）

首都大学野球秋季リーグの最終試合が10月23日、平塚球場（神奈川県平塚市）で行われ、本学硬式野球部が6―3で春季の王者・東海大を破り、勝ち点を5として、1996年秋以来10年ぶりの4度目となるリーグ優勝に輝いた。

本学はここ数年、5位など低迷していた。「最終節まで勝ち点を4つ取り、東海大への挑戦権を得た」。今年で就任6年目になる川村卓監督（体育・講師）は開幕前、そう話していた。その言葉通り、最終節まで各節とも3戦に及ぶ

粘りの野球を続けてきた。全日程を終了し、15試合で10勝4敗1分け。第2節・日本体育大との2戦目は延長11回まで1点を争い引き分けに持ち込んだ。川村監督は「この試合で手応えをつかんだ」と話した。

1勝1敗で迎えた第3戦、東海大戦の攻守に今季の勢いが凝縮されていた。一回裏、本学は佐藤賢（体育4年）坂本幸信（同4年）の適時打で2点を先制。二回にも、佐藤の適時打と本盗で2点を追加し、序盤に試合の流れを引き寄せた。5―3で迎えた八回裏に、金堀哲也（同3年）のスクイズで1点を追加し、試合を決定づけた。

先発の坪井俊樹（同2年）は五六回、東海大打線に連続安打を浴び、3失点したが、尻上りに調子を上げた。七、八回を三者凡退に仕留め、完投勝利した。奈良隆章主将（同4年）は「苦しい試合の連続だったが、この仲間と優勝できうれしい。一人ひとりが役割を全うし、信頼しあって戦い抜くことができた」と

と優勝の喜びを語った。表彰選手には坪井が最高殊勲選手、最優秀投手、ベストナインの三冠に輝いた。坪井は今季通算8勝1敗、防御率1・29だった。ベストナインには他に日高一晃（同2年）が捕手部門、金堀が二塁手部門、佐藤が指名打者部門に選ばれた。

投打冴えた全員野球

「大きい当たりは狙わず、ゴロでもしっかり振るバッティング」を掲げた川村監督は今季、打撃を練習の中心にしていた。その結果、チーム打率は春季の2割1分から、2割7分へと上昇。数字が増えただけではない。今季は本塁打ゼロ。「つなぐ打線」でそれぞれ

が自分の役割を果たした。投手陣は先発・坪井が、中一日で登板し、粘投を続けた。坪井が本調子ではない時には、捕手・日高の好リードで相手打線に的を絞らせなかった。守備では、遊撃手に真木宏（同3年）が入り、センタースタインが強化され、堅

実な守備体系ができた。最終戦では2併殺でピンチをしのいだ。川村監督は「優勝の瞬間は実感がなかった。でも一つひとつ試合を積み重ねた結果だ」と振り返った。

◇ 首都大学野球連盟代表となった本学は、第37回明治神宮野球大会出場をかけて10月30日から5大学で戦った。第2回関東地区大学野球選手権大会に出場した。

「自分たちのやってきた野球を信じて戦いたい（川村監督）」と臨んだ第1戦目は、惜しくも国際武道大に敗れた。しかし、それ以降の敗者復活戦では、勢いを取り戻し、創価大などに3連勝。神宮行きの切符を手にした。神宮大会は11月11―14日にかけて行われる。

アスベスト除去工事

体芸棟をリニューアル

トイレ改修、冷暖房も

アスベスト除去工事に合わせて、体芸中央棟、第一学群E棟で耐震や内装などを改修する全面的なリニューアル工事が始まった。体芸中央棟の工事は9月19日に着手し、2007年3月30日完成を目指す。筑波キャンパスの校舎を全面リニューアルする工事は今年度、アスベスト除去

工事は体芸中央棟の全面で行い、耐震、内装などのリニューアル工事は主に芸術専門学群が使用する西側のみ行う。工費は前年度補正予算でまかなう。主に体育専門学群が使用する東側や筑波キャンパスで老朽している他の建物のリニューアル工事は次年度以降に行う見通しだ。

体芸中央棟の改修案は施設部と「体芸中央棟設計・利用者合同ワーキンググループ（WG）」（代表者＝西川潔・芸術専門学群長）



色づいた木々も葉を落とし始めた（春日4丁目）  
（撮影・関田航二体育専門学群）

学長選考会議（議長＝古賀正一・市川学園理事長）は10月13日、岩崎洋一学長の再任審査を行った。投票の結果、全会一致で2年間の再任を決めた。岩崎学長の任期は04年4月から07年3月までの3年間だった。同会議では、筑波大学における学長選考のあり方について検討していた。

岩崎学長を再任

新たな任期制を適用

学長選考会議（議長＝古賀正一・市川学園理事長）は10月13日、岩崎洋一学長の再任審査を行った。投票の結果、全会一致で2年間の再任を決めた。岩崎学長の任期は04年4月から07年3月までの3年間だった。同会議では、筑波大学における学長選考のあり方について検討していた。

03年に岩崎学長を選出した際には、現在の任期制度が定められていなかったとして、「今回の再任審査では、意向調査を行うべきではないのか」という意見もあった。ある教員は「学長を再任する際には、信任投票を行うことで学内の結束を固めて欲しい」と話した。

学長選考会議には、教員から185人の署名を集めた要望書も出されていた。同会議はこれらの意見を踏まえ、「今回の決定にあたり、学長のリーダーシップの下、全構成員が一致協力し、本学がさらに発展することを望む」と表明した。

「神の思召しで三枚の硬貨」。中世ヨーロッパでは、酒に酔うと市民に罰金を科した。酔ったまま法廷に立つ原告や証人を見かね、国王が「禁酒令」を出した▼日本では奈良時代、酒の製法が確立した。19世紀半ば、フランス人細菌学者が香りと風味に支障をきたさない「低温殺菌法」を発見した。日本では室町時代から「火入れ」という名で行われており、世界を驚かした▼長く愛されてきた酒が今人々を脅かしている。02年6月、道路交通法が改正された。酒酔い運転は懲役刑が2年から3年へ、罰金刑は10万円以下から50万円以下となった▼新潟県見附市では先月、酒酔い運転をしたら、事故の程度を問わず懲戒免職という規定を設けた。今まで、職員の懲戒処分規定はなかった。一般企業でも、厳罰化は進む。社員が飲酒運転をすれば即刻解雇とした会社も出た。「一杯べらいならはもう許されない▼本学も意識が変わってきている。04年から、やどかり祭でアルコール販売を規制した。トラフル防止のため大学からの要請があった。今年の学園祭でも要請が出た。学生たちで話し合い、規制はか

筑波大学新聞

第257号

編集責任 筑波大学新聞  
編集委員会  
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040・6699  
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

月刊

発行所 筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

紙面から

総合科目 新編成へ向け議論白熱  
バスケット 接戦制し3連覇達成  
柔道 福見貫禄のオール一本勝ち  
IOC会長に名誉博士号  
スポデー 30周年記念企画を開催  
自然学類記念誌を作成

7 7 6 5 5 2

特集 4

着る・味わう——  
筑波大発オリジナルグッズ

おことわり

今月号は8面構成で発行しました

筑波大学出版会  
研究成果を発信  
設置、来年度中に

研究者の出版機会の確保▽教科書刊行による教育水準及び体系的教育の確保▽出版会設立と著作物刊行による本学の存在感のアップ——などが挙げられる。

出版会については、人文社会科学研究科の教員が中心となり、設立のための検討をしてきた。02年に有志懇談会、04年に筑波大学出版部門設立準備委員会を設立、学内アンケートを実施した。しかし、理系の研究者は学術誌への論文掲載といった業績発表の手段もあることから、大学全体の支持は得られなかった。

出版不況といわれる現状において、出版会設立とその運営に必要な資金、場所、専任職員の確保には大学による援助が不可欠。法人化後の厳しい財政状況の中、出版会設立の実現には全学的な合意が必要となる。

筑波お孔

「神の思召しで三枚の硬貨」。中世ヨーロッパでは、酒に酔うと市民に罰金を科した。酔ったまま法廷に立つ原告や証人を見かね、国王が「禁酒令」を出した▼日本では奈良時代、酒の製法が確立した。19世紀半ば、フランス人細菌学者が香りと風味に支障をきたさない「低温殺菌法」を発見した。日本では室町時代から「火入れ」という名で行われており、世界を驚かした▼長く愛されてきた酒が今人々を脅かしている。02年6月、道路交通法が改正された。酒酔い運転は懲役刑が2年から3年へ、罰金刑は10万円以下から50万円以下となった▼新潟県見附市では先月、酒酔い運転をしたら、事故の程度を問わず懲戒免職という規定を設けた。今まで、職員の懲戒処分規定はなかった。一般企業でも、厳罰化は進む。社員が飲酒運転をすれば即刻解雇とした会社も出た。「一杯べらいならはもう許されない▼本学も意識が変わってきている。04年から、やどかり祭でアルコール販売を規制した。トラフル防止のため大学からの要請があった。今年の学園祭でも要請が出た。学生たちで話し合い、規制はか



総合科目

新編成へ向け議論白熱

来年度から始まる新総合科目の編成の指針を説明するため、「総合科目編成に係る説明会」が10月25日午後2時から、1D201教室で開かれた。来年度開設予定の総合科目のオーガナイザー教員など約70人が参加し、質疑応答ではさまざまな学類の教員から活発な発言がなされた。

説明会ではまず、工藤典雄副学長(教育担当)が「教養科目の見直しは一年では終わらない。学群改組に伴い一つのスタートラインとしたい」と訴えた。続いて小笠原正明特任教授が「専門と教養」というテーマで、教養教育の歴史をたどり、大学の教養教育のあり方に

説明会 問われる「教養教育」

問・学類間における講師の推薦依頼のあり方や、オーガナイザー教員の役割、そして開設科目のマンネリ化の解消などについて説明された。

「新総合科目の編成の指針と留意点」では、広い分野の視野を養うという総合科目の趣旨に基づいた学群について語った。

質疑応答では、授業の7割以上を自組織の専任教員が担当するという原則や、毎時間異なる教員が担当す

授業評価アンケート

結果を冊子にまとめ公開

業績書作成も義務化

工学システム学類では、独自の授業評価アンケートを毎学期末に実施し、1年前から年に1度、結果を冊子にまとめて公開している。

同学類では、「授業評価アンケート票」を、全科目で学期末の授業時に学生に配布。20項目についての5段階評価と、自由記述に回答してもらい、集計は年1回まとめを行う。

5段階評価の項目では、成績の算出方法や学

るような授業計画を避けるべきという原則に対して疑問の声があがった。たとえば、現在、医学専門学群が開設している「脳と感性の科学」では、授業の3分の2を心理学や芸術の教員が担当し、毎時間異なる教員が講義を行っている。

総合科目編成室長の山田宣夫教授(文芸)は「学生に好評ならば、原則を厳密

マスコミ就活フォーラム

卒業生が語る舞台裏

「今すべきは旅と恋愛」

に守らなくても構わない。次年度以降に原則を修正することも考える」と回答した。また、教育企画室長の岡本健一教授(化学)は「2学期に全部の総合科目でマークシートによる授業評価を実施するので、その結果も参考にしてもらいたい」と話した。

マスコミ界に就職した卒業生が主催した「マスコミ就活フォーラム」が10月21日、大会会館で開催された。当日は150人以上の学生が参加した。

卒業生は、NHKディレクターの飯田健治さん(96年人文卒)、朝日新聞記者の島俊彰さん(同環境科学卒)ら6人だった。

自己紹介の後、日々の仕事について紹介した。飯田さんは、ドキュメント番組「プロジェクトX」の製作に携わった。「良い番組を作るには、まず運命。出会いを重ね、次世代にもつなかりを紡いでいく記者の仕事は、まさに運命そのもの」と説明した。

「本学生へのメッセージ」というテーマでは、野口さんは「学生のうちに旅と恋愛をしてほしい。ともに感動」という点で共通している。私たちの仕事は、それを伝えることだと語った。フォーラムを終えて、梶原さんは「就活の悩みを一人で抱えている在校生たちが、前向きな気持ちになてくれれば」と話した。



実体験を交えた卒業生の話に、参加者は聞き入った

大学院再編

芸術・環境研究科を再編

芸術は前期・後期制へ

来年度から芸術研究科を廃止し、人間総合科学研究科博士課程芸術学専攻と統合して、前期・後期制へ再編する計画がすすめられている。前期課程には、美術史、芸術支援、クラフト、情報デザインの4領域も新設する。また、環境科学研究科も来年度から廃止し、生命環境科学研究科と統合する予定だ。

芸術学専攻の前期課程は、芸術専攻と世界遺産専攻の2専攻となる。芸術専攻は、従来の芸術研究科美術、デザイン専攻と博士課程芸術学専攻の1、2年にあたる。定員は60名。世界



いかに環境負荷を軽減するかが話し合われた

環境ワークショップ

環境問題への理解を深める

本学キャンパス周辺の環境状況と、その改善について話し合う「筑波大学環境報告書ワークショップ」が10月25日、理系修士C棟

人事担当)の挨拶の後、緑地保全に携わってきた、高橋弘元宇都宮大副学長を招いての講演会が開催された。講演で高橋氏は「環境保全には組織全体での取り組みが不可欠である」と語った。また、「まずは身近の環境影響を把握することが大事だ」と指摘した。

その後、学生を交えてのパネルディスカッションが開催された。環境保護サークルエコレンジャーも参加し、9年にわたって行ってきた雙峰祭でのごみ分別などの取り組みについて報告した。

本学では現在、自動車での通勤、通学者を減らすため、学内循環バス定期的利用促進チラシを配布するなどの、環境負荷の軽減策を行っている。



# 反射鏡

## 恩師からの手紙 この10年間を思う

水田武人(日誌2年)

今夏、二十になった。その日、実家の郵便受けの中にそれはあった。八〇円切手が貼られた封筒。送り手は小学校4年時の担任小林先生。宛名は10年後の自分。早速封を切る。中には一枚の写真・しおり・二枚の手紙・カバの絵が入っていた。手紙を読み進める。小林先生の手紙。約束の二十歳が来た事を告げ、激励の言葉が書き連ねてある。懐かしかった。もう一枚は10年後の自分が書いた手紙。質問(しもん)が「ひつまん」になっていたこと、10年前の語彙の少なさ、文法の拙さに赤面しながら読む。「ひつまん」の内容は、車はなにをかいますか。いえはごですか。ベットはなにですか。今は元気ですか。ぽくは元気です。

この10年間を省みた。今では必然的に思える事が当時の私には、全く予期せぬことだったのだ。人生はまさに「一寸先は闇」であり、10年もの歳月は大きく人を

変えるものと思った。しかし、ただ一つ10年前の自分と変わらないものがあった。字のきたなさである。生来の悪筆はもう直らないを苦笑した。手紙の最後には「これからもガンバレ」で結ばれていた。二十からの10年間もまた、大変化の年になるだろう。



今月のテーマ  
心温まる話

学生から社会人になる。家庭を持っているかもしれない。自分のやりたい事をしているだろうか。未だ二十、前途洋々たる未来が広がっている。三十歳の自分に手紙を書いた。二十歳の自分に笑われないようにガンバろうという自戒の意味も含めて。結びはもう「ん」これからはガンバレ」改めて、小林先生の熱な計らいに感謝している。先生への返書をいま四苦八苦しながらしたためている。字が少しは綺麗になったのを見て、先生を感心させる事が当面の目標だ。

### 内定後の不安 鍋を囲み共有

神野怜志(社会学4年)

なんと内定をもらい、苦しかった就活が終わった。残りの大学生活は、あと約4カ月。来年の4月からは、社会人になる。1年の冬から居酒屋のバイトを始めた。以来約3年間昼夜逆転の生活を送ってきた私にとって、規則正しい生活に戻すのは容易ではない。不安はまだある。「自分

は社会で通用するのか。やはり院に行けば良かったかも知れない。最近、そんな想いが強くなっている。最後の学生生活を存分に満喫するはずだったこの2学期何だか気が冴えない。「鍋やらない？」10月下旬ごろ、同学年の友人からメールが来た。今度、それほど親しくなかったが、気晴らしに、とその友人宅へ向かった。他の友人も来ており、男5人での鍋パーティーが始まった。

恋愛、音楽、単位の取得で盛り上がった。だが突然、「将来が決まっていな時も不安だったけど、決まったら決まったで不安だよね」と、鍋を誘ってきた友人は言った。みんな大きく頷いた。「これで本当に

### 2人の母の贈り物 寂しい秋も暖かく

伊地知則子(日誌4年)

街路樹が色づき始めてそのカラフルな華と、すすきと高い空の青さのコントラストが映える景色に一瞬の至福を感じたりします。そんなときにふと思い出すひとコマが、初めてくはに来た日のこと。試験を終えた私に、付き添ってくれていた母が「ほら、綺麗だったから」と手渡してくれたどりのイチヨウの葉。ほっとしたのを思い出

ち上がった時、「今日は来てくれてありがと」とお礼を言われた。来てくれてありがと、なんて言われたのは初めてだった。みんなそれぞれ、不安を温まった気がした。

先立って、久しぶりにスペイン料理を作ってみました。理由はスペインのお母さんからお手紙をもらったから。留学時のホストマザーで「リナン」を体現したような、大らかで愛情豊かなお母さんは、私が理解するまでいつまでも側にいていてくれたり、学校の様子なども毎日時間をかけて聞いてくれたり、部屋を探して家を出た後までも気がかけてくれて、スペインが大好きな国のひとつであるのは彼女の存在からではない。今はもう母さんはいないけれど、温かい思い出が、

### 次号のテーマは クリスマススの思い出です

連絡先  
TEL 029-853-6669  
e-mail shinbun@seika.ac.jp

どんなお願いをしても助けるようになったのだ。大けてくれた日本人はいない。例えは、食べ物などがない。それはウズベキスタンの人々と差異点だろう。いっぱいトラブルを体験しながら一歳年上になったみたいになった。

日本の習慣や文化について嫌いなものはないと言わなければならないけど、日本に生まれて、ずっとここに住んでいるように感じている。もしかしたら、前世私はずっと日本人だったかなという心地良さがある。

「神様のおかげで日本に生まれてよかったよね」。来る前には全然夢にも思わなかった。

今年の夏、初めて珍し

# 筑波時評

現代の疾病構造は生活習慣の欧米化(過食、高脂肪食、高単糖質食、運動不足)と共に著しく変化している。心筋梗塞や脳卒中などの循環器疾患とその背後にある糖尿病の重要性が急速に増加

メタボリックシンドロームでは肥満(なかでも動脈硬化をおこしやすい内臓脂肪蓄積型肥満・内臓肥満)とともに高血圧、高血糖、高脂血症(高中性脂肪血症あるいは低HDLコレステロール血症)を重複しやすいことが特徴である。重複する

メタボリックシンドロームでは肥満(なかでも動脈硬化をおこしやすい内臓脂肪蓄積型肥満・内臓肥満)とともに高血圧、高血糖、高脂血症(高中性脂肪血症あるいは低HDLコレステロール血症)を重複しやすいことが特徴である。重複する

メタボリックシンドロームでは肥満(なかでも動脈硬化をおこしやすい内臓脂肪蓄積型肥満・内臓肥満)とともに高血圧、高血糖、高脂血症(高中性脂肪血症あるいは低HDLコレステロール血症)を重複しやすいことが特徴である。重複する

メタボリックシンドローム

## 糖尿病発症は5—10倍 肥満の是正などが基本



山田 信博

ウエスト周囲径  
≥85(男) ≥90(女)

上記に加え以下のうち 2項目以上

①脂質代謝異常  
高トリグリセリド血症 ≥150mg/dl  
かつ/または  
低HDLコレステロール血症 < 40mg/dl

②血圧  
収縮期血圧 ≥130mmHg かつ/または  
拡張期血圧 ≥85mmHg

③空腹時高血糖 ≥110mg/dl

日本内科学会発表8学会合同ガイドライン (102回内科学会総会,2005)

ここで心筋梗塞、脳卒中や糖尿病を生じやすいハイスルク病態となる。多くの報告によれば、メタボリックシンドロームでは、循環器疾患のリスクは約2—3倍増加し、糖尿病発症は5—10倍増加する。従ってメタボリックシンドロームの管理は

むしろ運動量の減少や肥満者の増加が指摘された。生活習慣病、循環器疾患、糖尿病を予防するための新たな方策として、メタボリックシンドロームに注目した予防対策が提案された。メタボリックシンドロームの診断は実用的な見地から

かつ簡便にハイスルク者を抽出できるように高血圧(空腹時血糖が110以上)のいずれか二つを持つ場合をメタボリックシンドロームとしている。各々の基準値は高血圧(収縮期血圧が140以上、拡張期血圧が90以上)、糖尿病(空腹時血糖が126以上あ

治療は、原因となる生活習慣を改善したり、肥満を是正することが基本である。適切な指導で全ての因子を改善することが期待される。高脂血症、高血圧、糖尿病などで薬物療法が必要な場合でも、適正な食事療法や運動療法を継続して、肥満の是正に努めるべきである。

(臨医・教授)



## トラブルを通じて成長

足首を骨折し松葉杖を使わなければならなくなりました。外国にいるから両親の世話も受けられず、医療費も高かったから胸が張り裂けそうになった。しかしそんな苦しい時みんな助けてもらっていた。日本人はとも優しく親切でいつも

日本にきて一番びっくりしたのは自転車がないことだ。自転車は一番便利で交通手段であり、私も大好きになった。出かける時、時間を節約する為に役に立った。しかし2回もひどい目にあって、







関東女子学生リーグ戦

接戦制し、3連覇達成

拓大、日体大を振り切り優勝

最優秀選手賞に櫻田

バスケット

関東の大学一を争う関東女子学生バスケットボール1部リーグ戦が9月2日から10月22日にかけて開催された。本学は11勝3敗、勝ち点25で優勝した。本学が同リーグで優勝するのは3年連続10回目。

大会前半、本学は順調に勝ち進み5連勝した。しかし9月17日の対早大第2戦、本学のシュートが思うように決まらず敗れた。翌週は拓殖大との、同率首位同士の対戦となった。第1戦序盤、本学は早大戦の悪い流れを引きずり、シュートが決まらず、第1ピリオドを13-21で終える。しかし試合中盤、櫻田佳恵



拓大戦でシュートを決める鈴木 (埼玉県立体育館で)

本学は単独首位のまま2位日体大との最終戦を迎えた。第1戦序盤、本学は思うように点が取れなかった。「ボールを積極的に取りに行け」と、内山治樹監督(体育・助教授)が声を掛ける。近藤啓子(同4年)が拓殖大のディフェンスをかき乱す。前半を36-29で終了。その後も追いつくが拓殖大を振り切り、67-63で勝利。流れを取り戻した本学は翌日の第2戦も終始リードを保ち、91-68で勝ち、単独首位に躍り出た。



「世界」を相手に熱戦を繰り広げた

世界バレー プエルトリコ代表が来筑 事前キャンプ、公開試合も

バレー

世界バレーの開催にあたり、プエルトリコの女子ナショナルチーム21人が10月23日から29日にかけて本学で事前キャンプを行った。エキシビジョンマッチとして、10月28日には球技体育館で本学女子バレーボール部と対戦した。本学はスト

優秀選手賞＝櫻田佳恵▽優秀選手賞＝有明葵衣▽最優秀監督賞＝内山治樹

全日本学生体重別選手権

福見、貫禄のオール一本勝ち

佐藤ら5人が準優勝

柔道



各階級の学生日本一を争う全日本学生柔道体重別選手権が10月14-15日にか



福見は最後まで冷静だった (日本武道館で)

て日本武道館(東京・千代田区)で開催され、本学からは19人が出場した。48キロ級で福見友子(体専3年)が全試合一本勝ちで2連覇を達成したほか、5人が準優勝を果たした。

福見は決勝までを全て一本勝ちして、大木千夏(福岡工業大)を迎えた。開始1分、いきなり相手を倒して技ありを奪うと、そのまま縦四方固めをかけた。完璧に固め、身動きさせないまま25秒、押さえ技一本勝ちをおさめた。

福見の優勝について岡田弘隆監督(体育・助教授)は、「当然だ。本人も同じ気持ちだろう」と語る。福見は今大会を「負けるわけ

にはいかない大会」と位置づけていた。若手のライバルの山岸絵美(三井住友海上)や中村美里(渋谷教育学園渋谷高)が出場しない。今大会は「11月の講道館杯への通過点」というのが福見の本音だ。「満足できる試合は一つもなかった。立ち技で一本とれるよう、研究を重ねる」と、あくまで冷静に語った。

卓球

全日本学生卓球選手権 野中、惜しくも2位

大学卓球日本一を決定する第73回全日本学生卓球選手権大会が10月12-15日に兵庫県尼崎市記念公園総合体育館で開催された。本学からは、女子シングルスで野中由紀(体専3年)が2位、伊藤みどり(同

勝に終わっている。この結果について岡田監督は「やりの感を感じた。佐藤の背中を立山が掴み、倒して二本無念の逆転負けを喫した。本学勢は福見以外に5人が決勝に進出したが、準備

決勝

福見○ 縦四方固め 大木  
横口 優勢 ○櫻本  
法兼 0判定3 ○稲葉  
馬場 優勢 ○齋藤  
中山 優勢 ○穴井  
佐藤 小外刈り ○立山

流れを変える鋭い速攻



女子バスケット部の切り込み隊長 有明葵衣 (体専2年)

学選手権にも出場した渡辺がカット打ちで3ゲームを連取。追いつめられた野中が広い守備範囲とカットを活かしたプレーでゲームを連取し、ゲームカウントは3-3に。最終ゲームは後半で野中が10-9と先にマッチポイントを握った。しかし、野中はここでレシーブミスをして、渡辺がこのジュースを制した。

マッチポイントを迎えた。しかしプエルトリコ代表の3連勝得点により24-26で惜しくもセットを奪われた。その後、調子を取り戻したプエルトリコに本学はスパイクをはね返され、第2セットを15-25、第3セットを19-25で落とした。

プエルトリコ代表のアウト・クルス選手は「筑波大生との試合は、世界選手権への情熱や準備、調整の必要性を選手に考えさせてくれた」と語った。

秋季リーグ

男子2位、女子3位

れた。青学との最終戦、予選リーグではフルセットまで持ち込み粘りを見せたが、決勝リーグでは、レシーブやトスのミスが続き、0-3のストレートで敗れた。中西康己監督(体育・助教授)は「インカレでは一つひとつ丁寧にプレーしていきたい」と語った。

男子は、決勝リーグで東海大と2度対戦するも、初日は1-3、3日目は0-3で敗れた。最終日の順天堂大戦も、フルセットまで粘るが、2-3で敗れた。3位の順天堂大とは、セット率わずか0.056差だ。日体大と対戦し2-3で敗

記録ファイル

◆秩父宮賜杯第46回実業団・学生対抗陸上競技大会(10月22日、小田原市宮内上競技場) 【男子】▽100m 2位・斎藤仁志 10秒51▽110m 障害 5位・岸原 14秒37▽円盤投げ 50.89(2位) 秋本啓太▽【女子】▽800m 2位・品田貴恵子 2分11秒94▽1000m 障害 5位・金子紗織 14秒00▽400m 障害 6位・宮崎加奈子 61秒89▽三段跳び 6位・宮地杏美 11.31▽砲丸投げ 2位・美濃部貴衣 14.38、3位吉田いずみ 14.07

顔

本学女子バスケット部の持ち味は「スピーディーな攻撃と堅い守り」だ。そんな女子バスケット部の試合運びの中で、大きな役割を果たしているのが、ポイントガードの有明葵衣(体専2年)だ。

身長165センチ。決して背が高いわけではないが、自他共に認める切り込み隊長として攻守で活躍している。鈴木あゆみ(同3年)や櫻田佳恵(同4年)がリバウンドをとると、有明が走る。パスを受け、追いつく相手選手を振り切り、一気に速攻を決める。相手の速攻にはじぶんと張り付く。「高さで勝負でき

ない分、平面の動きでかき乱す」と有明は話す。秋田経法大高時代は、3年までセンターとして活躍した。高校2年のウインターズカップでは、インターハイ優勝16回を誇る強豪、札幌山の手高

インカレを観戦。そこで本学のプレーや、チームの明るい雰囲気魅せられ、本学に入学した。有明は自らのポジションであるポイントガードを「試合の流れを握るポジション」と分析する。

卒業後は実業団入りを考えているが、「今はチームで大学の頂点に登り詰めることが考えていない」。ちなみに尊敬する選手は、同じ秋田出身で、NBAの田臥勇太。「自分を活かしつつ、周りも活かすプレーは、学ぶところが多い」と語る。(本紙・齋藤電太 比較文化学類)



## 本学のオリンピック講座を激励——

## IOC 会長に名誉博士号

## ロゲ会長が記念講演

## 本学生ら300人が静聴

本学が開設するオリンピック講座に対し、激励のメッセージを送るなど継続的な支援をしたとして、本学は10月20日、国際オリンピック委員会（IOC）のジャック・ロゲ会長を招待し、名誉博士号を授与した。授



表彰を受けるロゲ会長（大学会館国際会議室で）



学生時代の主要な関心は物理に出てくる数学であった。現代物理学の重要な柱が量子力学で、その数学的基礎が関数解析学であり、その土台を築いた一人がスティーファン・バナッハであるという程度のことを知っていたが、詳しい内容は知らなかった。4年の卒業研究の題目の中にバナッハの「線形作用素論」を見たとき、すぐにこれと決めた。

バナッハの本は1932年に仏語で書か

古典数学に悪戦苦闘  
根気強さ漱石に学ぶ

を讀んだ。数学用語は英語から類推しながら悪戦苦闘するうちに、20ページほどしたらあまり辞書を引かなくても読み進むことができるようになった。しかし、今度は古典的な数学のスタイルに

れたもので、私には全く仏語の知識がなかった。一語一語辞書を引きながら読むとしたのだが、動詞の活用も知らぬ人間には求める単語にたどり着くのが難しく、序文はすべてにあらためて本文

苦悶する羽目に陥った。例えば、積分論は現在とは異なる精細な集合論が基礎である。今日ではもはや取り上げられなくなった問題が現れたりする。あるとき証明が書かれ

史の中に置いておへべきで、関数解析学を学ぶのなら現代的な教科書で手早くやるのが普通だからである。



磯崎 洋

でお出でなさい。世の中は根気の前に頭を下げることを知っています。火花の前には一瞬の記憶しか与えてくれません。牛は超然として押しにくいのです。我が意を得たりと思った。

究生活でも続いた。周囲がどんどん進む中で、一人取り残されるような気が常にしていた。あるとき漱石書簡集を讀んで、こんな一節が出てきた。「我われはとかく馬になりたがる。根気強く



特別賞を受賞した MCBI（つくばカピオ・ホールで）

## 第2回つくばベンチャー大賞

## 3社が特別賞を獲得

つばはベンチャー企業を応援する目的で昨年から始まった、第2回つくばベンチャー大賞の授賞式が10月27日、つくばカピオで行

に寄与すること語った。また、授与式、記念講演会の後には、総合交流会館でレセプションパーティーが行われた。餅つきイベントで、ロゲ会長が力強く杵を振り下ろすと、周囲から

学生らが企画、運営をした。レジャー論研究室の嵯峨寿助教授（体育）は「式典が厳かに行えたことや、多くの学生が参加してくれたこともあり、今回の招待は成功したと思う」と話した。

3億4600万円、つくば・アントプレナー賞に「ソフトウェア」(本社)につくば市吾妻、資本金2000万円、つくば・チャレンジャー賞に「MCBI」(本社)につくば市二の宮、資本金9060万円)がそれぞれ選ばれた。

メディアステックは、IT関連のコンサルティングなどを手がける宮内淑子氏が、北川高嗣教授（シス情）の研究成果を基に00年6月に創業。「MSコード」という2次元バーコードの開発など、便利で安全に利用できるIT技術の開発が評価された。例えば、雑誌やテレビに表示されたMSコードを、携帯電話で読み取れば、コードの持つ情報やサービスが利用できる。ソフトウェアは、登大遊

## 秋の叙勲

秋の叙勲が11月3日、発表され、本学関係者から4人が受勲した。金子明友名誉教授と田淵武士名誉教授に瑞宝中綬章、大野博孝元

金子名誉教授は1949年、東京高等師範学校体育科卒。東京教育大体育学部講師を経て、74年本学体育科学系教授。90～92年

さ（情報4年）が04年4月に創設した学生発ベンチャー。VPNというネットワークシステムの開発が評価された。VPNを使えば、LANを介さずにインターネット上でネットワークを構築できる。学外からのT



西尾チヅル

本書は、東京大学で経営戦略論や組織論、マーケティングなどの研究を行っている学者たちが、経営学系の研究を志す学生に向けて書いた本である。タイトルだけを見ると、研究の方法論についての固い本という印象を受けるが、実際は、5人の著者が博士課程の学生であったとき、駆け出しの研究者であった時に、研究テーマとどう出会い、一つの研究としてどう大成させていったかを、赤裸々に語った経験談である。

## 研究を志す全ての学生へ

## リサーチ・マインド経営学研究法

藤本隆宏編

自分への研究についての「世界観の作り方」といったテーマについて、学生からの質問にリレー方式で回答する形で述べられている点だ。例えば、ある著者は「世界観」があり、中でも、独自の世界観を確立していくことを推奨しているが、他の著者は「一つの世界観にむしる固執しないこと」の重要性を説いている。また、世界観は「個人のミ

研究の方法論に関する良書は他にもある。しかし、多くの書は、理論や方法論の説明が先行しているため、学生の皆さんは、それば代表で選考委員長の高木英明教授（シス情）は「いずれもつくばに根ざした独自の企業だ。将来性があり、斬新で卓越したアイデアがある」と話した。



西尾チヅル

育大教授、コネチカット大客員研究教授を経て、76年、本学応用生物学系教授。90年退官。専門は応用微生物学。

第56回吹奏楽団定期演奏会  
ノバホールに814人来場  
今回で56回目となる吹奏楽団の定期演奏会が11月3日、ノバホールで行われ、814人が来場した。客演

「研究テーマの見極め」や「ス・教授」その他、この本が魅力的なのは、研究者として成長していく過程で直面する問題（2100円）（ヒジネ）で、著者たちの具体的な研究プロセスを、理論や方法と結びつけて理解できる点にあるが、私は、研究者を目指す、または研究をきちんと行おうと思っている全ての学生に薦めたい。（有斐閣・2100円）（ヒジネ）



(圖書館情報專門學群)



学生宿舎入居者募集

12月7・8日に抽選

在校生を対象とした学生宿舎の来年度入居者の募集が始まっている。  
一般単身用個室の募集告知は、各宿舎の共用棟と支援室に11月16日から掲示さ

る。申し込みは11月28日から12月1日まで、平砂共用棟の管理事務所受付けける。抽選は12月7・8日に行われる。  
2人部屋の募集告知は、

テーマは「筑波大学」

学生向け広報誌「STUDENT'S」がフォトコンテストを行う。募集する写真のテーマは「筑波大学」。学内行事やサークル活動、学内の自然など、「筑波大

フォトコンテスト

日。詳しい応募方法はSTUDENTS(2006年10月号)、大学公式ページ029-853-2269の「教育・キャンパス」(学生担当教員室)まで。  
奨学金返還説明会  
12月13日に開催  
日本学生支援機構奨学金の返還説明会が12月13日午後3時から4時半まで、大

映画「夜のピクニック」に出演

谷口能彦さん(生資4年)

約1000人の高校生が2日間、60分の道のりをひたすら歩き続ける。県立水戸一高の伝統行事「歩く会」は、午前9時に水戸を出発し、約20時間かけて東海村まで歩く。近くの体育館で3時間程度の睡眠をとった後、再び水戸へ戻る。  
谷口能彦さん(生資4年)はこの「歩く会」を題材にした映画「夜のピクニック」にエ

歩いて深めた仲間の絆

経験生かし現場指導も

「歩く会」は毎年10月に行う。初めの40分はグループでの団体歩行、残りの20分は自分のペースで歩く。「ゴールした時の達成感は一生涯忘れられない」と谷口さんは言う。  
「もっと、全国の人たちに『歩く会』を知ってもらいたい」と昨年5月、エキストラのオーディションに応募撮影は昨年

炎天下の中、ひたすら歩く場面の撮影が続いた。他のエキストラたちの出欠確認や体調管理、「ここはもっと疲労感を出した方がいい」と自ら演技の説明もした。平均睡眠時間は毎日3時間、体重は6キログラム落ちた。「実際の『歩く会』以上に、体力的にきつかったが、少しでも自分の経験を生かされたい」と必死だったという。

撮影から1年が経った現在も、エキストラたちとは連絡を取っている。谷口さんは「初対面の人でも、一緒に歩いているうちに恋愛の事や将来の夢など、普段言えないこ

た。」「歩く会」は毎年10月に行う。初めの40分はグループでの団体歩行、残りの20分は自分のペースで歩く。「ゴールした時の達成感は一生涯忘れられない」と谷口さんは言う。  
「もっと、全国の人たちに『歩く会』を知ってもらいたい」と昨年5月、エキストラのオーディションに応募撮影は昨年

Who's Who?



二学食堂で思い出を語る谷口さん

「歩く会」は毎年10月に行う。初めの40分はグループでの団体歩行、残りの20分は自分のペースで歩く。「ゴールした時の達成感は一生涯忘れられない」と谷口さんは言う。  
「もっと、全国の人たちに『歩く会』を知ってもらいたい」と昨年5月、エキストラのオーディションに応募撮影は昨年

炎天下の中、ひたすら歩く場面の撮影が続いた。他のエキストラたちの出欠確認や体調管理、「ここはもっと疲労感を出した方がいい」と自ら演技の説明もした。平均睡眠時間は毎日3時間、体重は6キログラム落ちた。「実際の『歩く会』以上に、体力的にきつかったが、少しでも自分の経験を生かされたい」と必死だったという。

新人記者募集

有名に取材してみたい  
マスコミに興味がある  
文章を書くのが好き  
普通のサークルじゃ物足りない  
人とは違う大学生活を送りたい  
パソコンなどの技術を生かした仕事がしたい

編集会議 時間 毎週月曜日午後6時半～  
場所 共同研究棟A棟104  
問い合わせ=029・853・6699  
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

大学会館書籍部ベストセラー

1	手紙	東野圭吾/文芸春秋
2	邪魅の雫	京極夏彦/講談社
3	下流喰い	順田慎一郎/筑摩書房
4	愛国の作法	姜尚中/朝日新聞社
5	風味絶佳	山田詠美/文芸春秋
6	天使の梯子	村山由佳/集英社
7	永遠。	村山由佳/講談社
8	若者はなぜ3年で辞めるのか?	城繁幸/光文社
9	鏡の法則	野口喜則/総合法令出版
10	子育てハッピーアドバイス(3)	明橋大二/1万年堂出版

10月の1位は、東野圭吾の「手紙」。  
8位は城繁幸の「若者はなぜ3年で辞めるのか?」。仕事がつまらない。努力して成果をあげても、一向に報われない。やらされるのはいつまでも単純な作業だけ。「3年で3割辞める」といわれる新卒離職率「心の病」を抱える30代社員の急増、ニート、フリーター問題……。現代の若者が感じる閉塞感の原因に迫る。催事は手帳カレンダーフェア(10%オフ)

催事

展覧会

◆第22回筑波大学大学院修士課程芸術研究科作品展(MC展) 11月14日から19日までつくば美術館(つくば市吾妻)で開催される。開館時間は午前9時半から午後5時まで。最終日は午後4時まで、入場は同3時半まで。

音楽会

◆混声合唱団第31回定期演奏会 12月16日、ノバホールで。午後1時半開場、午後2時開演。  
「落葉松」(作曲)小林秀

講演会

◆「防犯・安全運動講習



◇オオクチバス◇

学内天久保池にて釣り上げられたものの、北アメリカ原産日本には食用、釣りの対象として持ち込まれたとされる。全国の湖、沼などの止水環境や流れの穏やかな河川に生息しており、強い魚食性を持つ。現在特定外来生物に指定されており、飼育や放流は法律により規制されている。(写真・文)山田啓介、生物資源学類2年・野生動物研究会

筑波野生動物図鑑